

神海丸通信

2015 マグロ漁業実習 No.4

2000本の針に魂を込める！早朝5時の投縄



スナップ掛け

「レッコー！」早朝5時、船橋で舵を持つ船長の合図で、船尾から長さ約80kmの幹縄を送り出し投縄が始まります。幹縄にブラン（枝縄）を付けるスナップ掛け・針に餌を付ける餌付・餌の付いたブランを縫れなく海に投げ入れるブラン投げ・次々とコンベアーにブランを送り出すブラン出しなど、一つでもタイミングがずれるとマグロの食いに大きく影響するため乗組員・実習生合わせて12名は緊張感を持って行っています。針の数は約2000本。船長をはじめ投縄に関わる者達がこの全ての針に魂を込めて今日も神海魚を追って縄を入れて行きます。



ブラン投げ



ブラン出し



餌付



朝焼け



餌ばらしを楽しむ人



餌の臭いが限界な人



餌の臭いでダウンした人